

わくわく 本だな

12月



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『ときめきのへや』(えほん)

セルジオ・ルツィア/作 福本 友美子/訳 講談社



もりねずみのピウスは、ものをあつめるのがだいすき。あつめたからものは、どんなものでも「ときめきのへや」にかざります。

『ネコがすきな船長のおはなし』(えほん)

インガ・ムーア/作・絵 たが きょうこ/訳 徳間書店



ネコ船長は、大すきなネコをたくさん船にのせて旅にでました。あらしにあった船は、小さな女王さまのいる島にたどりつきます。

『ネバーギブアップ!』★

くすのき しげのり/作 山本 孝/絵 小学館

クラスでうでずもう大会がひらかれます。うでずもうが大きいなジュンは、先生ともうとっくんすることになりました。



『カメレオンのレオン 小学校の秘密の通路』★★

岡田 淳/作 偕成社

トモローとアミは、学校の中庭で「コケッコ」をさがすあやしい人とである。その人はなんと、べつの世界からきた探偵らしい。



『ジャンピンライブ!!! オンザストリート』

★★★ 開 隆人/作 宮尾 和孝/絵 そうえん社



父が漁に出て、ひとりになったレイは、どうしてもお金が必要だった。でも、どうやったら小学五年生がお金をかせげるだろう？

『深海の超巨大イカ』(ちしきの本)

NHKスペシャル制作班/編 新日本出版社



深海にすむダイオウイカは、調査がむずかしく、なぜにつつまれています。このまぼろしの巨大生物の撮影にいどみました。

あたらしく はいった本



『二匹のいたずらこやぎ』 ★

松居 スーザン／作 出久根 育／絵 佼成出版社



いたずらこやぎのハイジとペーター。おばあさんのつなをきってにげだして、市場で山で大きわざ。今ごろ、おばあさんはどうしてるのかな？

『ねむの花がさいたよ』 ★★

にしがき ようこ／作 戸田 ノブコ／絵 小峰書店



大好きなママをなくしたきらは、おばあちゃんたちとくらしています。でもときどき、いないはずのママがいてくれるような気がするのです。

『きっとオオカミ、ぜったいオオカミ』 ★★★

山崎 玲子／作 かわかみ 味智子／絵 国土社



真砂人は、家の近くの山で何かの骨をほりあてました。これは、きっとオオカミだ！博物館でたしかめるため、たったひとりで東京へ出かけます。

『ブータンの学校に美術室をつくる』

(ちしきの本)

榎本 智恵子／作 WAVE 出版

世界一しあわせな国と言われるブータン。でも、耳の不自由な子のための学校には、絵の具も紙もありませんでした。



『ふたつのねがい ふゆのおとぎばなし』 (えほん)

ハルメン・ファン・ストラーテン／作 野坂 悦子／訳

光村教育図書

おもちゃのゆきだるまが、てんしにねがいをかなえてもらい、おどりこのにぎょうとであいます。でも、まほうは1じかんだけなのです。



『クレヨンマジック』 ★

舟崎 克彦／作 出久根 育／絵 鈴木出版

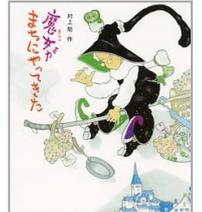


たいくつなとき、どうしたらいいかおしえてあげよう。おまじないをかけたかみを、ひこうきにしてとばすんだ。ポストにクレヨンがとどくから。

『魔女がまちにやってきた』 ★★

村上 勉／作 偕成社

371歳の魔女は、山のとっぺんにすんでいます。あまりにさむいので、町へひっこすことにしました。



『12種類の氷』 ★★★

エレン・ブライアン・オベッド／作
バーバラ・マクリントック／絵 ほるぷ出版



冬のはじめからおわりまで、わたしたちはいろいろな氷でスケートを楽しむ。「スケートパーティー」「夜のスケート」……君はどれが好き？

『めざせ！給食甲子園』 (ちしきの本)

神山 典士／著 講談社

みんなに美味しい給食を届けるため、栄養士の先生や調理師さんたちは工夫をこらします。給食の全国大会では、どんな給食が優勝するのでしょうか。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273